

## 国語科学習指導案 （6年）

1 単元名 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう「海の命」

2 単元について

(1) 単元の目標

◎ 登場人物の相互関係や心情、場面の描写をとらえ、人物の生き方について自分の考えをまとめることができる。 (読むこと(1)エ)

○ 読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(読むこと(1)オ)

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	言語についての知識・理解・技能
・物語の人物マップに興味をもち、進んで優れた表現を読み、自分の考えをまとめようとしている。	・登場人物の生き方について、相互関係や心情をあらわす描写をもとに読んでいる。 (1)エ ・文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (1)オ	・登場人物の心情や生き方を表す叙述の表現の、やわらかさや美しさ等に関心をもって読んでいる。 イ(カ)

(3) 指導観と単元を貫く言語活動

本単元は、学習指導要領の第5学年および第6学年の目標(3)「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことを受け、内容「C 読むこと」「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」をねらいとし、重点を置いて指導していく。

単元を貫く言語活動として、本単元では、「物語の人物マップをつくろう」を位置付けた。本題材の「海のいのち」における太一の生き方には、登場人物同士の関わりが大きく影響している。そこで、本文の叙述をもとに、物語の主人公とその他の登場人物が互いに抱えている心情を想像し、登場人物の相互関係について考えさせることで、人物の「生き方」についての考えを深めさせたい。「おとう」、「与吉じいさ」、「クエ」、そして「海」、それぞれと太一の間を人物マップの4つのピースとし、読み進めていくごとに、人物マップが完成していく仕組みにする。そうすることで、各登場人物との関係を毎時間しっかりと見つめることができるとともに、児童の読みへの意欲の高まりを持続できるようにする。また、児童一人一人がマップにあらわす相互関係の言葉の共通点や相違点に気付かせ、さらに考えさせたい言葉について、児童全体に問いかけることで、さらに読みを深めていけるようにしたい。

また、並行読書として立松和平作品の「いのちシリーズ」から1冊選び、「海の命」で活用した「物語の人物マップ」を自力で作ることを取り入れた。このことで、他の物語でも、登場人物の相互関係や、「命」と向き合うことによって生まれる登場人物の「生き方」に対する考えを深められるようにしたいと考えた。

### 3 研究主題との関連

本校では、「自分の考えをもち、生き生きと伝え合う子どもの育成～思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動の工夫～」を研究主題として設定し、日々の授業の工夫を行っている。本単元では、研究の方針の(2)、(3)の視点に重点を置き、授業を構想した。

(2) 自分の経験や知識をもとにして、共通点や相違点を見つける力(比べる力)を高めるために

発問に対する児童一人一人の読み取りや表現の違いを受け止め、児童の言葉の中から、さらに考えさせたい言葉について、再び問いかけをすることで、互いの意見から学び合うことの良さや楽しさに気付かせたい。

(3) 自分の思いや考えを分かりやすく伝える力(伝える力)を高めるために

叙述に基づいた自分の考えをワークシートに記入してから話し合いをしたり、自由に発表できるような話し合いの形態を工夫したりすることで、教師に伝えるのではなく、児童から児童へと、自分の考えを積極的に伝え合える力を身に付けさせたい。

### 4 単元の指導計画及び評価計画(総時数 11時間)

時	ねらい	主な学習活動 ☆並行読書	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語の人物マップを作ることに関心を持ち、本単元の見通しをもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語の人物マップの例を提示し、単元の言語活動を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">物語の人物マップを作ろう</div>	<p>【関】物語の人物マップ作りを通し、作品に対する自分の考えをまとめたり、友達の考えを知ったりすることに関心をもっている。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語の登場人物や場面、物語の構成を確認することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全文を読み、登場人物や場面、物語の構成を確認する。</li> </ul>	<p>【読】物語の構成を読み取り、内容を把握している。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>「太一にとっておとうとは、どのような人物だったのか」について考えることを通して、太一と父の相互関係を読み取ることができる。</li> <li>人物マップを作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一段落を読み、太一の父への思いが分かる部分に線を引き、相互関係について考える。</li> <li>人物マップを作り、太一との関係をとらえる。</li> </ul>	<p>【読】根拠となる文から、太一と父の相互関係を読んでいる。</p> <p>【読】読み取ったことやその根拠を発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付いている。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「太一にとって与吉じいさとは、どのような人物だったのか」について考えることを通して、太一と与吉じいさの相互関係を読み取ることができる。</li> <li>人物マップを作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二段落、第三段落を読み、太一の与吉じいさへの思いが分かる部分に線を引き、相互関係について考える。</li> <li>人物マップを作り、太一との関係をとらえる。</li> </ul>	<p>【読】根拠となる文から、太一と与吉じいさの相互関係を読んでいる。</p> <p>【読】読み取ったことやその根拠を発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付いている。</p>

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「太一にとってクエとは、どのような存在だったのか」について考えることを通して、太一とクエの相互関係を読み取ることができる</li> <li>・太一の心情の変化を読み取ることができる。</li> <li>・人物マップを作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太一のクエへの思いが分かる部分に線を引き、相互関係について考える。</li> <li>・太一が巨大なクエをうたなかった理由について考え、太一の心情の変化を読み取る。</li> <li>・人物マップを作り、太一との関係をとらえる。</li> </ul>	<p><b>【読】</b> 根拠となる文から、太一とクエの相互関係を読み取り、人物マップから、太一が巨大なクエを捕らなかつた理由を考え、太一の心情の変化を読んでいる。</p>
6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の関係や人物マップをもとに「太一にとって海とはどのようなところなのか」について話し合うことを通して、太一の成長や生き方について考えを広げたり深めたりすることができる。</li> <li>・人物マップを作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物マップをもとに、物語全体を通して、太一にとって海とはどのようなところなのかについて考える。</li> <li>・人物マップを作り、太一との関係をとらえる。</li> </ul>	<p><b>【読】</b> 登場人物の関係や人物マップをもとに「太一にとって海とはどのようなところなのか」について話し合うことを通して、太一の成長や生き方について考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>【読】</b> 想像したことやその根拠を発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付いている。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「海の命」の登場人物の生き方について考えたことを紹介し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の生き方について考えたことを紹介し合う。</li> </ul>	<p><b>【関】</b> 登場人物の生き方について考えたことを進んで紹介しようとしている。</p> <p><b>【読】</b> 「海の命」についての自分の考えを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>
8 ・ 9 ・ 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いのちシリーズ」から一冊選び、物語の人物マップを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆物語の人物マップ作りを通して、人物の生き方について考えることができる。</li> </ul>	<p><b>【関】</b> 「海の命」で学んだ読み取り方を使って読み進めることを理解し、意欲的に人物マップ作りをしている。</p> <p><b>【知】</b> 登場人物の心情や生き方を表している叙述に着目し、物語の人物マップ作りに生かしている。</p>

11	<p>・自分が選んだ本の登場人物の生き方について考えたことを紹介し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p>	<p>☆登場人物の生き方について考えたことを紹介し合う。</p>	<p><b>【関】</b> 登場人物の生き方について考えたことを進んで紹介しようとしている。 <b>【読】</b> 自分が選んだ本についての自分の考えを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>
----	---	----------------------------------	---

並行読書教材

「山のいのち」

「街のいのち」

「木のいのち」

「川のいのち」

「牧場のいのち」

「田んぼのいのち」

作者 立松和平

## 5 本時の指導

(1) 題材名 「海の命」 (本時の指導 6 / 10)

(2) ねらい

- ・ 登場人物の関係や人物マップをもとに「太一にとって海とはどのようなところなのか」について話し合うことを通して、太一の成長や生き方について考えを広げたり深めたりすることができる。  
(読む)

(3) 展開 (別紙)

(3) 展開

学習活動		・教師の支援 ◇評価	資料
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「太一にとって海とはどのようなところなのか」について考えよう</p> </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までの人物マップから、登場人物の関係や太一の心情について確認する。</li> </ul>	全文 掲示
<p>2 「太一にとって海とはどのようなところなのか」について自分の考えをまとめる。</p> <p>〈予想される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恩師のようなところ</li> <li>・ 大切な場所</li> <li>・ 経験の場</li> <li>・ 自由なところ</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>全文掲示や人物マップを通して、太一の海についての思いがどのようなものになったのかについて考えることを伝える。</li> <li>太一の海についての思いを全文掲示に記入することで、太一にとっての海への思いが変化していることに気付かせる。</li> <li>考えさせたい言葉（大切、命など）について再び問うことで、父・与吉じいさ・クエの存在が、太一の成長や生き方に深く関係していることに気付かせる。</li> </ul>	ワーク シート
<p>3 クラス全体で話し合う。</p> <p>① それぞれの考えを発表し合う</p> <p>② 児童の言葉から、考えさせたい言葉について話し合う</p> <p>〈予想される教師の発問と児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太一にとって「大切」なものとはどんなものか。</li> <li>→父 (「海のめぐみ」を教えてくれた)</li> <li>→与吉じいさとの思い出 (「千びきに一びき」ということを教えてもらったから)</li> <li>→クエとの出会い (心情が変わったから) (海の命を守ることができたから)</li> <li>→命 (たくさんの魚の命が集まっているから) (魚の命をもらって生きているから) (海には父や与吉じいさの命があるから)</li> </ul>	20	<p>◇ 登場人物の関係や人物マップをもとに「太一にとって海とはどのようなところなのか」について話し合うことを通して、太一の成長や生き方について考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>【読む能力】(人物マップ・観察・発表)</p> <p>A 十分に満足できる状況 登場人物の相互関係や心情についての描写に着目し、主人公の成長や生き方について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>B おおむね満足できる状況 登場人物の相互関係や心情についての描写に着目し、主人公の成長や生き方について自分の考えをまとめている。 (支援が必要な児童への手立て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人物マップや太一の言動、太一にとって登場人物がどのような存在なのかを確認することで、太一の生き方に対しての自分の考えをもてるようにする。</li> </ul>	
<p>4 人物マップに自分の考えをまとめる。</p>	10		人物 マップ
<p>5 本時のふり返りと次時の予告をする。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習課題について人物マップに自分の言葉でまとめることができたことを賞賛する。</li> <li>次時は、登場人物の生き方について考え、紹介し合うことを伝える。</li> </ul>	人物 マップ

